

NYDA0102ABA

BB



2 900000 164024

takagi

タッチレス 蛇口一体型浄水器

# 取扱説明書

LC

## ■アフターサービスについて

本商品に関する事柄は、当社までお気軽にお問い合わせください。

- 水栓の修理や設置
- 破損した部品の交換
- 浄水器や浄水カートリッジに関するお問い合わせ
- その他お問い合わせ

タカギ・コミュニケーションセンター ミズはよい水 受付時間 8:30~18:00(年中無休)

通話料 無 **0120-328-413** \*受付時間外でも、修理など緊急の際は音声ガイダンスより専用番号をご案内いたします。

<https://www.takagi.co.jp/>

株式会社 タカギ

このたびは、タカギの蛇口一体型浄水器をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書と保証書の内容をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

その後大切に保管し、わからないときは再読してください。

■ 安全上のご注意	p.1	はじめに
■ 各部の名称・特徴	p.16	使い方
■ 使い方	p.18	
初めてお使いいただく前に	p.18	
吐水量・温度調節	p.19	
水栓部の使用方法	p.20	
停電および故障時の応急対応	p.23	
浄水器部の使用方法	p.24	
浄水カートリッジの交換	p.25	お手入れ
浄水カートリッジの交換方法	p.26	
使用済み浄水カートリッジの処分について	p.27	
■ 凍結予防について	p.28	
通常仕様の凍結予防	p.28	
寒冷地仕様の凍結予防	p.28	
■ お掃除・お手入れの仕方	p.32	
お掃除・お手入れについて	p.32	
吐水部のお掃除の仕方	p.34	
ストレーナのお掃除の仕方	p.37	
その他の部位のお掃除の仕方	p.41	
定期的な点検	p.42	こんなときは
■ 故障かな?と思ったら	p.43	
緊急時の水の止め方	p.43	
お問い合わせの前に	p.43	その他
■ 分解図	p.48	
■ 補修部品	p.49	
■ 製品の点検・交換スケジュール	p.50	
■ 製品仕様	p.51	
■ 保証書	p.52	

# 安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるように大切に保管してください。
- この説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



**警告**

この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。



**注意**

この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



記号は、してはいけない「禁止」行為であることを示しています。



記号は、触れてはいけない「接触禁止」を示しています。



記号は、してはいけない「分解・改造禁止」を示しています。



記号は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。



記号は、必ず実行していただく「強制」内容を示しています。

## 警告 けがをするおそれがあります



接触禁止

メッキ面がはがれた場合は、はがれた所を触らずに修理を依頼してください。(メッキ部品に鋭利な物や硬い物を当てるとそこから腐食などが進行しメッキ面がはがれ、けがをするおそれがあります)

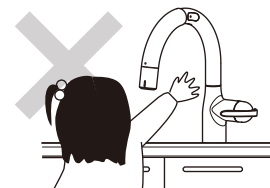


## 警告 やけど・けがをするおそれがあります



禁止

小さなお子様だけでのご使用は避けてください。やけど・けがをするおそれがあります。

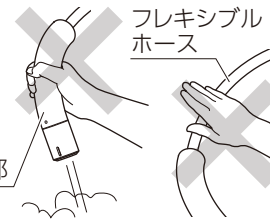


## 警告 やけどをするおそれがあります

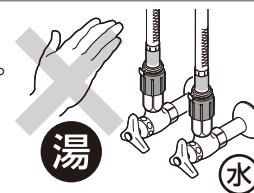


接触禁止

高温の湯を使う場合または長時間湯を流し続けるとグリップ部やフレキシブルホース、接続部などが熱くなり、やけどをするおそれがあります。直接触らないでください。

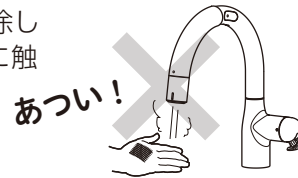


湯側の配管には直接触らないでください。やけどをするおそれがあります。



禁止

やけど防止機能による止水を解除して吐水するときは、最初に出る湯に触れないでください。



# 安全上のご注意

## ⚠ 警告 やけどをするおそれがあります(つづき)

湯をご使用の場合は60℃以下で使用してください。

ただし、吐水温度が約55℃を超えるお湯になると、やけど防止機能が作動し自動で止水します。

約55℃を超えるお湯を使用する場合は、p.22「やけど防止機能」を参照してください。

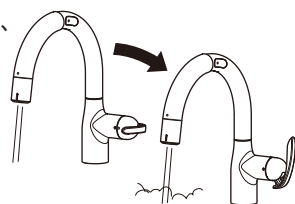


高温の湯を使用したあと、次に使用する際に高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

必ずレバーハンドルを水側に戻し、高温の湯が出なくなるまで吐水してください。

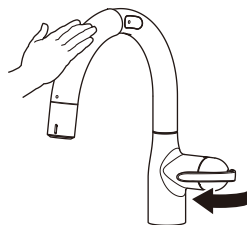


湯を使うときは、必ず水側から吐水し、ゆっくり湯側に回して温度を調節してください。



必ず実行

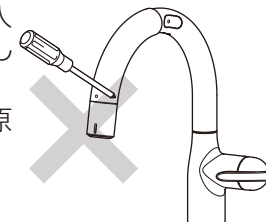
浄水器部をお掃除する際は、レバーハンドルで止水し、グリップ部とフレキシブルホースが熱くないことを確認してください。



正常な温度調節を行うために、給湯圧力を給水圧力より低くするか、同圧にしてください。給湯圧力を加圧する場合も同様です。

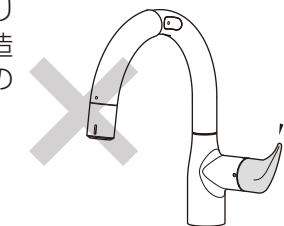
## ⚠ 警告 発火や感電、けが、水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります

分解はp.32～p.42「お掃除・お手入れの仕方」で記載された項目以外はしないでください。発火や感電、けが、故障や水漏れの原因になります。



分解・改造  
禁止

この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取りはずしなどの改造はしないでください。故障や水漏れの原因になります。



## ⚠ 警告 けがや水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります

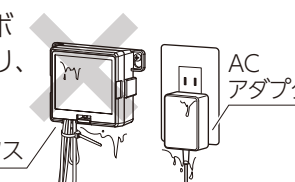
長年にわたるご使用により、部品が劣化・摩耗などで破損する可能性があります。定期的に(2回以上/年)キャビネット内や点検口内など、配管周りのガタつきや水漏れがないか確認してください。



必ず実行

## ⚠ 警告 発火や感電、ショート、故障の原因になります

電源プラグ(ACアダプタ)や、制御ボックス、電磁弁ユニットを水につけたり、水をかけたりしないでください。



禁止

制御ボックス

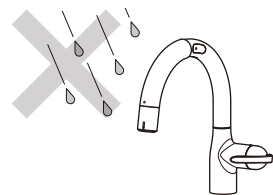
AC  
アダプタ

# 安全上のご注意

はじめに

## 警告 発火や感電、ショート、故障の原因になります(つづき)

水がかかる場所や、表面に水滴が生じるような湿気の多い場所で使用しないでください。

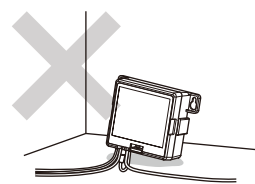


センサースイッチへ直接水をかけないでください。

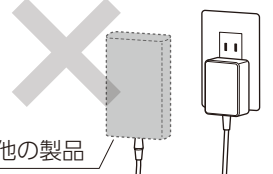


禁止

制御ボックスを床に置かないでください。壁に正しく取り付けてください。

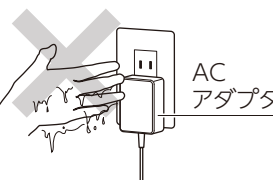


付属の電源(ACアダプタ)以外は使用しないでください。また、付属の電源(ACアダプタ)を他の製品に使用しないでください。



## 警告 感電の原因になります

電源プラグ(ACアダプタ)にぬれた手で触れないでください。

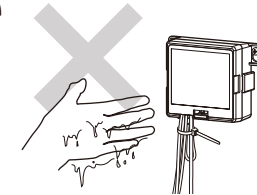


禁止

はじめに

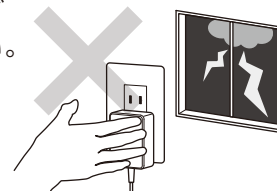
## 警告 感電の原因になります(つづき)

制御ボックスにぬれた手で触れないでください。



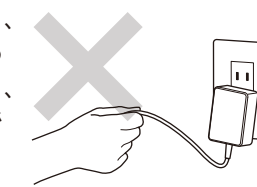
禁止

雷が発生しているときは、電源プラグ(ACアダプタ)に触らないでください。



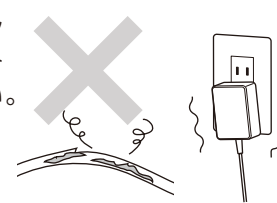
## 警告 発火や感電、ショートの原因になります

ケーブル類を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだり、巻き付けたりしないでください。



禁止

電源プラグ(ACアダプタ)のケーブルが傷んだり、コンセントへの差し込みがゆるいときは使用しないでください。



交流100V(50/60Hz)以外では使用しないでください。



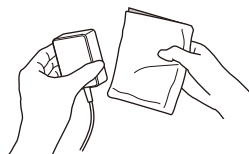
100V以外

# 安全上のご注意

はじめに

## ⚠️ 警告 発火や感電、ショートの原因になります (つづき)

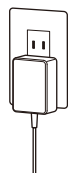
電源プラグ (ACアダプタ) に付いたホコリは、取り除いてください。電源プラグ (ACアダプタ) にホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



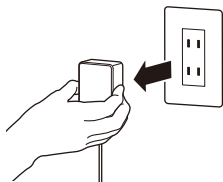
必ず実行

電源プラグ (ACアダプタ) をコンセントに差し込むときは、根元まで十分に差し込んでください。

根元まで十分に  
差し込む!

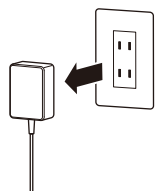


電源プラグ (ACアダプタ) を抜くときは、ケーブルを持たずに必ず本体を持って引き抜いてください。



必ず実行

水栓の故障や発煙、異臭、その他異常が発生した場合はただちにコンセントから電源プラグ (ACアダプタ) を抜いて、タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。

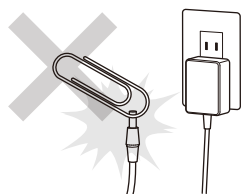


## ⚠️ 警告 発火や感電の原因になります



禁止

導電性異物 (金属片、鉛筆の芯など) で端子部をショートさせないでください。



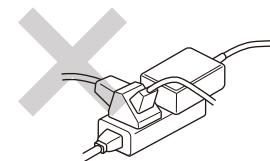
はじめに

## ⚠️ 警告 発火の原因になります



禁止

タコ足配線はしないでください。

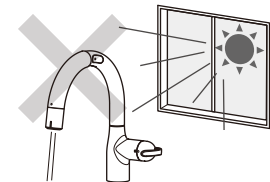


## ⚠️ 注意 誤作動・故障などによる水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります

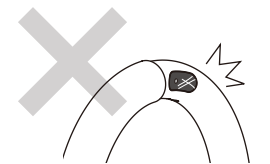


禁止

直射日光が当たる場所で使用しないでください。

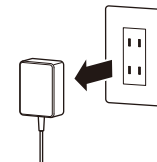


センサースイッチを傷つけないでください。



必ず実行

旅行など長期間使用しない場合は、レバーハンドルを閉じて電源プラグ (ACアダプタ) をコンセントから抜いてください。

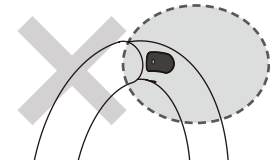


## ⚠️ 注意 誤作動による水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります



禁止

センサースイッチの前に障害物がないようにしてください。





# 安全上のご注意

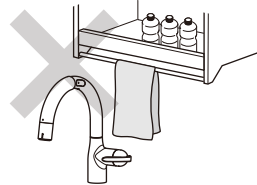
はじめに

## ⚠️ 注意 誤作動による水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります(つづき)



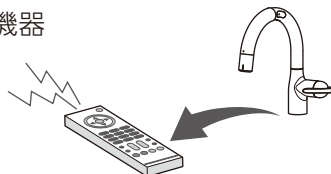
禁止

水栓上部にある昇降式キャビネットの操作バーにタオルなどを掛けないでください。



必ず実行

インバータや赤外線を用いた他の機器は、水栓から遠ざけてください。

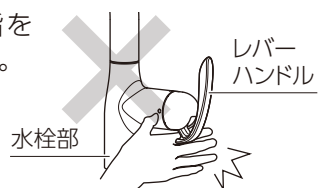


## ⚠️ 注意 けがをするおそれがあります



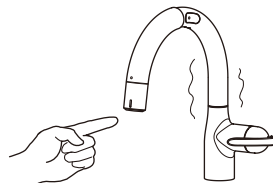
接触禁止

レバーハンドルと水栓部の間で指を挟み、けがをするおそれがあります。



必ず実行

ガタつきなどの異常を放置すると、部品の破損やメッキ部品の表面が割れ、けがをするおそれがあります。万一、部品の破損やメッキ部品の割れを発見した場合は、修理を依頼してください。

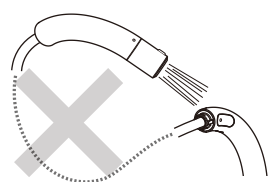


## ⚠️ 注意 水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります



水かけ禁止

水栓部に向けて水をかけないでください。水がフレキシブルホースなどをつたい、シンク下に漏れることがあります。



はじめに

## ⚠️ 注意 水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります(つづき)

浄水カートリッジ以外の消耗品も、定期的な交換が必要です。

センサースイッチ 	レバーハンドル 	セラミックバルブ 	浄水器部 
電磁弁ユニット 	ワンタッチカプラ 	フレキシブルホース 	スクリーン部 
制御ボックス 	ACアダプタ 	ストレーナキャップ (フレキシブルホース先端) 	水抜き栓 (電磁弁ユニット) 
ネジ式カプラ 	排水機能付ネジ式カプラ 	ホースストッパー 	
【通常仕様】	【寒冷地仕様】		

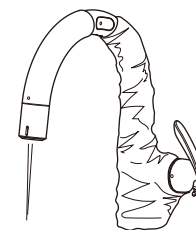


必ず実行

※詳しくはp.48「分解図」、p.49「補修部品」ならびにp.50「製品の点検、交換スケジュール」を参照してください。

凍結が予想される際は、室温を下げないようにして水栓部(センサースイッチ部分を除く)を布などの保温効果のあるもので包むか、水栓から少量の水を流し続けてください。

※詳しくはp.28~p.31「凍結予防について」を参照してください。



# 安全上のご注意

はじめに

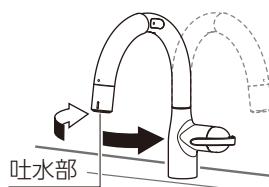
## ⚠️ 注意 水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります(つづき)

レバーハンドルを勢いよく閉めると、配管を破損し、水漏れを起こすことがあります。ゆっくり操作してください。

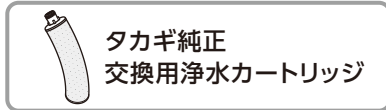


必ず実行

この水栓は、構造上左右に可動します。シンクより吐水部がはみ出す場合がありますので、ご使用の際は吐水部の位置を確認してから水を出してください。



交換用浄水カートリッジは必ず純正のものを使用してください。



## ⚠️ 注意 家財などを破損するおそれがあります (ディスポーザー設置の方)

ディスポーザーをご使用の際は、「原水」で水形を「ストレート」にして、レバーハンドルを水側いっぱいまで回して使用してください。「浄水」や「シャワー」、「温水」でディスポーザーを使用すると、吐水量不足により粉砕物が配管に詰まる可能性があります。



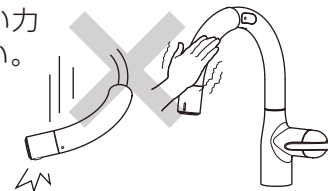
- ※「浄水」で使用した場合、浄水カートリッジの交換時期が早まります。
- ※ディスポーザーメーカーの動作条件をご確認の上、使用してください。
- ※この水栓は吐水開始から5分で自動で止水します。
- ※吐水中にセンサースイッチの検知によって、意図しない止水となる場合がありますので注意してください。



必ず実行

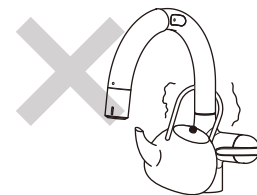
## ⚠️ 注意 故障や水漏れの原因になります

浄水器部を落としたり、水栓に強い力や衝撃を与えたりしないでください。

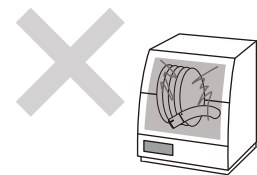


禁止

浄水器部やレバーハンドルに重い物を下げたり、力をかけて回したりしないでください。部品の破損の原因になります。



浄水器部を取りはずし、食器洗い乾燥機などで洗わないでください。



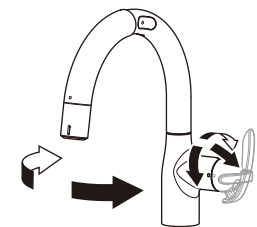
## ⚠️ 注意 故障の原因になります

給湯温度は60℃以下で使用してください。60℃を超える高温で使用すると、製品の破損や変形により、機能を損なうおそれがあります。



必ず実行

可動部分は定期的に動かしてください。長期間動かさなかった場合、操作が重くなるおそれがあります。可動部分が固くて動きが悪い場合は、水アカの固着や潤滑剤切れの可能性があります。そのまま放置すると故障の原因になりますので、修理を依頼してください。



はじめに

# 安全上のご注意

はじめに

## ⚠️ 注意 体調を損なうおそれがあります

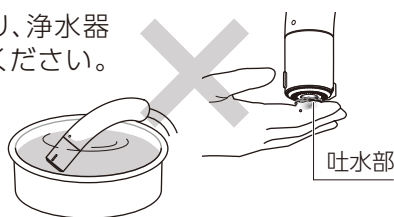


禁止

浄水は汲み置きしないでください。水道水中の残留塩素が除去されているので、浄水中での雑菌の繁殖が早まります。



吐水部を汚れた手で触れたり、浄水器部を水没させたりしないでください。雑菌が増えやすくなります。

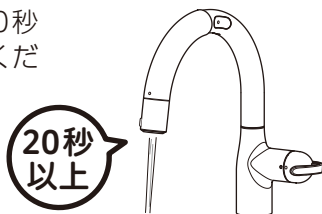


水道水の飲用基準に適合した水を使用してください。



必ず実行

2日以上使用しなかった場合は20秒以上浄水を流してから使用してください。



## ⚠️ 注意 浄水能力が低下します



必ず実行

浄水は水側でご使用ください。浄水器に湯を通水すると、一時的に活性炭に吸着された成分(においなど)が流れ出る可能性があります。浄水した湯を使用する場合は一度沸騰させてください。



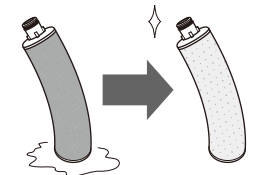
はじめに

## ⚠️ 注意 浄水能力が低下します(つづき)



必ず実行

交換時期を経過した浄水カートリッジは、必ず交換もしくは取りはずしてください。

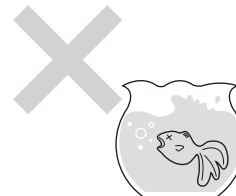


## ⚠️ 注意 魚などが死ぬ原因になります



禁止

浄水を魚などの飼育水には使用しないでください。水質、環境などが変わり、魚などが死ぬ原因になることがあります。





# 安全上のご注意

# 各部の名称・特徴

はじめに

## 寒冷地仕様

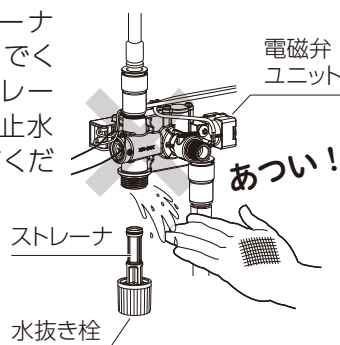
**警告** やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります



禁止

水抜き栓は水抜きおよびストレーナのお掃除以外の目的で開けないでください。また、水抜きおよびストレーナのお掃除をする場合は、事前に止水栓が閉まっていることを確認してください。

※詳しくはp.28「寒冷地仕様の凍結予防」、ならびにp.39「ストレーナのお掃除の仕方(電磁弁ユニットのストレーナ)」を参照してください。

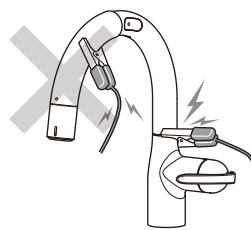


**注意** 家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります



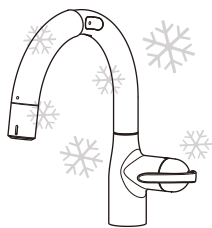
禁止

解氷機をご使用の場合、水栓には絶対に通電しないでください。水栓が通電による発熱で破損し水漏れの原因になります。

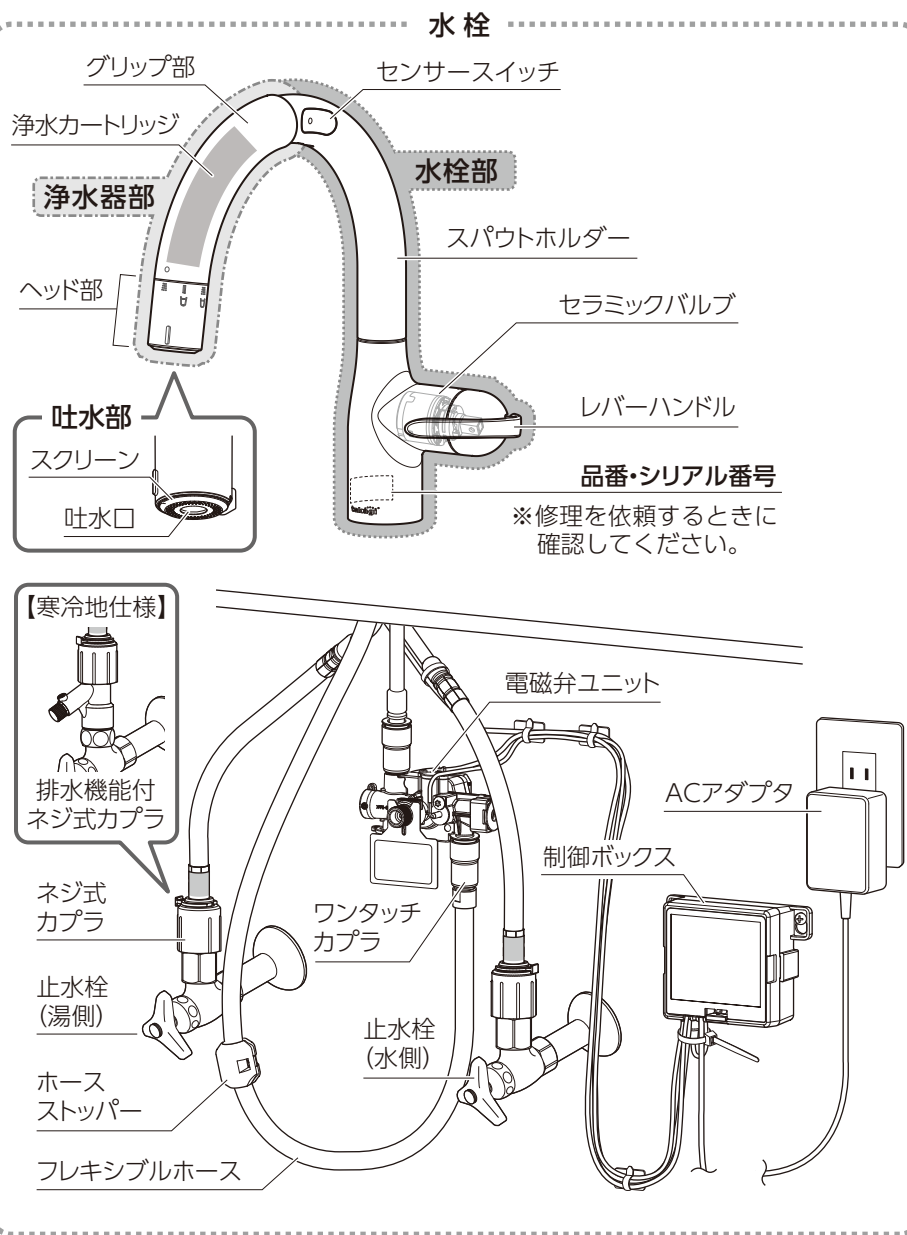


必ず実行

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、p.28～p.31「凍結予防について」を参照し、確実に実施してください。水栓が凍結すると部品が破損し水漏れの原因になります。



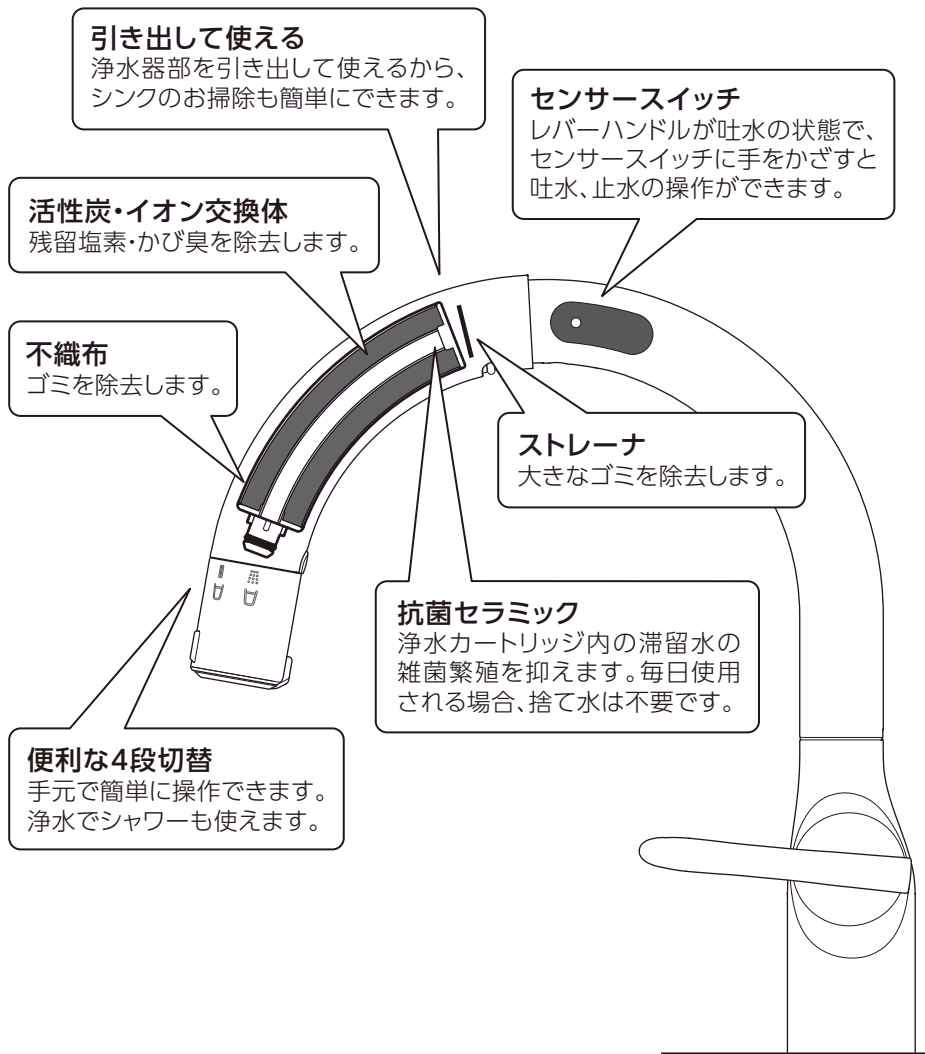
## 各部の名称



使い方

# 各部の名称・特徴

## 特徴

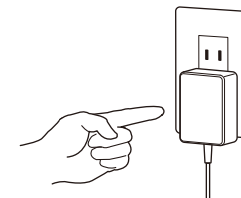


# 使い方

## 初めてお使いいただく前に

### 電源

電源プラグ(ACアダプタ)がコンセントに正しく差し込まれていることを確認してください。



### 吐水の確認とお掃除

使用開始前にセンサースイッチの保護フィルムをはがしてください。



正常に吐水することをご確認いただき、吐水部、ストレーナのお掃除をしてください。お掃除の仕方はp.34~p.40「お掃除・お手入れの仕方」を参照してください。

### ⚠ 注意

配管中のゴミやサビなどが流れ出て、浄水カートリッジが目詰まりしたり、吐水口やストレーナが詰まったりするなど、正常に吐水しない場合があります。

### 浄水カートリッジの取り付け前に

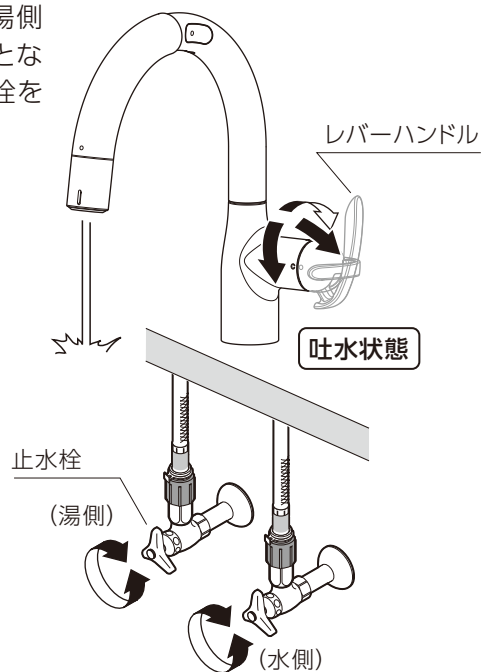
浄水カートリッジを取り付ける前に、水道水の濁りがなくなるまで水を流してください。浄水カートリッジの取り付け方はp.26~p.27「浄水カートリッジの交換方法」を参照してください。

# 使い方

## 吐水量調節

### 調節の仕方

レバーハンドルを水側全開および湯側全開にしたときの、吐水量が最適となるように、水側・湯側の2つの止水栓を調節してください。

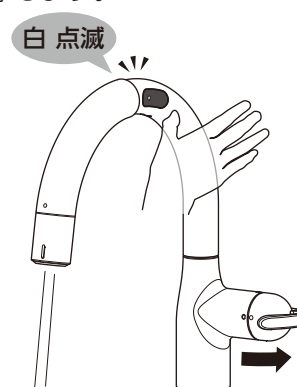


## 水栓部の使用方法

### 吐水・止水<センサースイッチ>

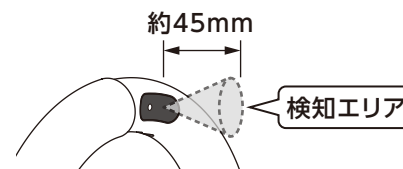
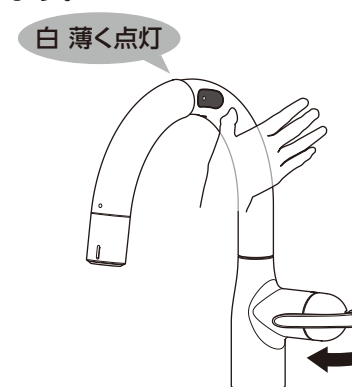
#### 吐水

レバーハンドルを吐水の状態にします。  
センサースイッチに手をかざすと吐水します。



#### 止水

再びセンサースイッチに手をかざすと止水します。  
使用後は、レバーハンドルを閉じます。



### ポイント

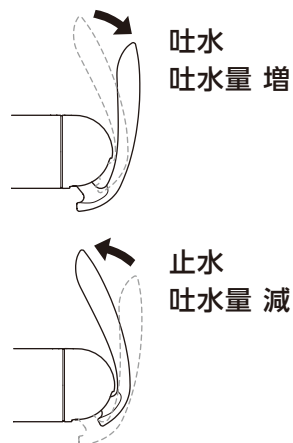
- 下記の場合、自動で止水します。
  - ◆ 10秒以上手や物がセンサースイッチの検知エリア内にあるとき (誤検知防止)
  - ◆ 5分間連続で吐水しているとき (止め忘れ防止)
- センサースイッチで吐水したにもかかわらず水が出ない場合は、レバーハンドルが閉じていないか確認してください。
- 吐水量・温度はレバーハンドルで調節します。
- 黒っぽい色や透明の物に反応しない場合があります。
- 直射日光など明るい環境ではセンサーが反応しにくいことがあります。
- 非通電もしくは故障を検知したときはランプが消灯します。

# 使い方

## 水栓部の使用方法(つづき)

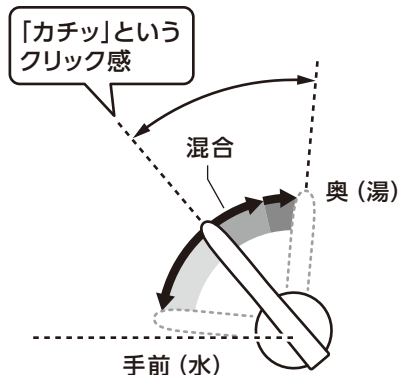
### 吐水・止水・吐水量調節<レバーハンドル>

レバーハンドルを下へ傾けると吐水し、戻すと止水します。  
吐水量は、レバーハンドルを下に傾けるほど増し、戻すと減ります。  
※使用後はレバーハンドルを閉じてください。



### 温度調節

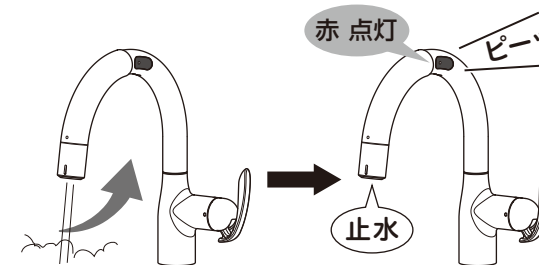
レバーハンドルを手前に回すと水に、奥へ回すと次第に温度が上がります。奥側いっぱい回すと、最高温度になります。  
この水栓は、レバーハンドルが水平から上方45°に位置するときに、水が出ることで、気付かずにお湯が出ることを防ぎます。  
(ムダなお湯を使わないための機構です)



## やけど防止機能

やけど防止のため約55℃を超えるお湯になると、「ピーッ」と音が鳴り自動で止水します。

- ・やけど防止機能による止水中に、センサースイッチに手をかざすと止水のまま「ピピピッ」と音が鳴ります。
- ・水栓内の水温が約45℃に下がると、ランプが赤から白へ変わり、センサースイッチで通常の吐水・止水ができます。



お湯を流し始めた直後や、お湯の吐水量を絞って使う場合、給湯器によっては設定温度よりも高いお湯が流れることがあります。  
頻繁にやけど防止機能が働く場合は、給湯器の設定温度を下げる、もしくはお湯の吐水量を多めに使用してください。

### 止水の解除の仕方 (約55℃を超える高温を吐水もしくは、水温を下げて吐水する場合)

センサースイッチに3秒以上手をかざすと、「ピーッピーッ」と音が鳴ると同時に高温の吐水が再開します。(ランプが赤点滅へ変わります)水温を下げたい場合は、レバーハンドルを水側へ回します。

**警告** やけどをするおそれがあります  
やけど防止機能による止水を解除して吐水するときは、最初に出る湯に触れないでください。

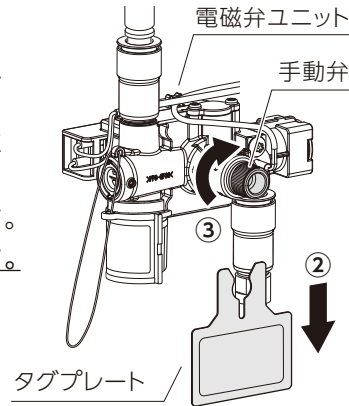
# 使い方

## 停電および故障時の応急対応

停電や万一センサースイッチが故障したときは、応急対応として電磁弁ユニットの手動弁を開けることで、レバーハンドルのみで吐水・止水ができます。

### 応急対応時＜手動弁を開ける＞

- ①レバーハンドルが止水の状態であることを確認します。
  - ②電磁弁ユニットのタブプレートを下向きに引き抜きます。
  - ③手動弁を右いっぱいに回し、弁を開けます。  
⇒レバーハンドルで吐水・止水ができます。
- ※復帰後は下記の手順で元に戻します。



### 復帰後＜手動弁を閉める＞

- ①手動弁を左いっぱいに戻し、弁を閉めます。
  - ②タブプレートを元の位置に差し込みます。  
⇒センサースイッチで吐水・止水ができます。
- ※タブプレートは必ず取り付けてください。手動弁が動き、センサースイッチで止水ができなくなるおそれがあります。

故障時には止水栓を閉じ、コンセントから電源プラグ(ACアダプタ)を抜いて、タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。

タカギ・コミュニケーションセンター ミズはよい水 受付時間 8:30~18:00(年中無休)

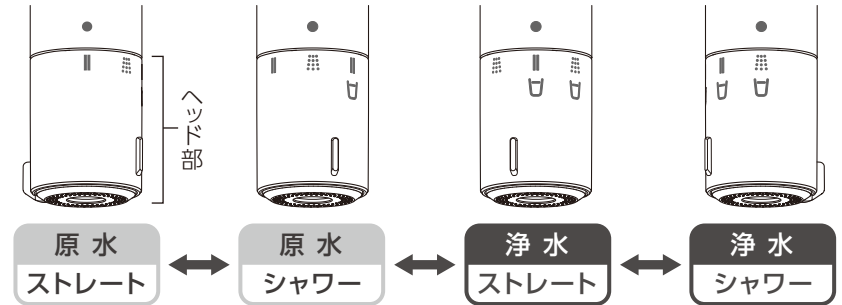
通話料 無 0120-328-413

\*受付時間外でも、修理など緊急の際は音声ガイダンスより専用番号をご案内いたします。

## 浄水器部の使用方法

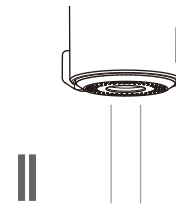
### 水形、浄水/原水の切り替え

ヘッド部を左右に回すと、水形、浄水/原水が切り替わります。



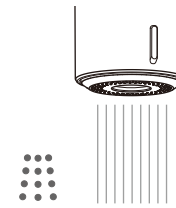
#### ■ ストレート

水筒やボトル、空き瓶の洗浄などに便利です。



#### ■ シャワー

たっぷりシャワーで食器洗いや野菜を洗うのに便利です。



### ⚠ 注意

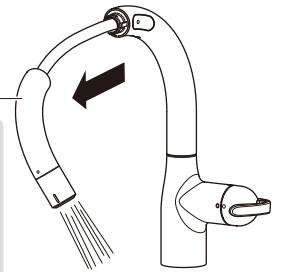
ヘッド部を中途半端な位置で止めると水形不良や浄水/原水の切替不良の原因となります。



### 浄水器部の引き出し

浄水器部は引き出して使えます。  
浄水器部を持って手前に引き出します。

浄水器部



### ⚠ 注意 破損のおそれがあります

浄水器部のグリップ部は薄い構造です。落下すると変形し、水栓部に取り付けできないおそれがあります。取り扱いには十分に注意してください。変形した場合は修理を依頼してください。





# 使い方

## 浄水カートリッジの交換

きれいな水をいつでもお使いいただけるよう、浄水カートリッジは定期的に交換してください。



交換サイクルの目安		
交換サイクル	推奨家族人数	浄水使用量の目安 (1日あたりの使用量)
2か月	5人以上	20L
3か月	3~4人	13L
4か月	1~2人	10L

※以下のような場合は交換サイクルの目安に関係なく浄水カートリッジを交換してください。

- 浄水量が少なくなった。
- においがするようになった。

### ○浄水カートリッジの目詰まりについて…

水道水は一年中一定の水質状態を保っているわけではないため、水質の変化によって浄水カートリッジの目詰まりが早くなることがあります。浄水の水の出が悪くなった場合は、早めの交換をおすすめします。また、タカギは「原水」を通水することで、浄水カートリッジ表面にたまった微細なゴミを洗い流す「自動クリーニング」機能を搭載しています。食器洗いなどの水仕事は「原水」を使用するなど、浄水 / 原水を上手く使い分けていただくことで、目詰まりが起こりにくくなります。

## 浄水カートリッジの交換サイクルの変更・ご相談について

蛇口一体型浄水器に関するご不明な点や浄水カートリッジの交換時期の変更をご希望のお客様は下記の連絡先へお気軽にご連絡ください。

タカギ・コミュニケーションセンター ミズはよい水 受付時間 8:30~18:00(年中無休)

通話料 無 0120-328-413 \*受付時間外でも、修理など緊急の際は音声ガイダンスより専用番号をご案内いたします。

## 浄水カートリッジの交換方法

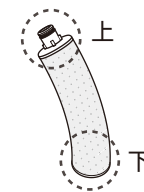
※初回取り付け時は、手順①、③、④の順で作業してください。

交換方法をわかりやすく動画で紹介しています。



### 浄水カートリッジ取り扱いの際の注意

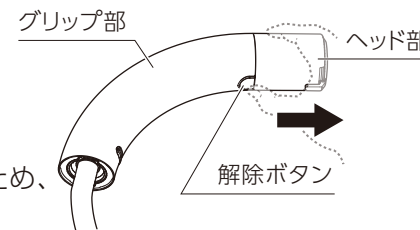
- 浄水カートリッジのプラスチック部は、はずさないでください。
- 浄水カートリッジを強く持ったり、無理やり回したりしないでください。破損の原因となります。
- 浄水カートリッジの上下方向を間違えないようにしてください。
- 浄水カートリッジ表面に黒い微粒子が付着している場合がありますが、ろ材の活性炭であり、製品品質には問題ありません。



### 浄水カートリッジ交換時の注意

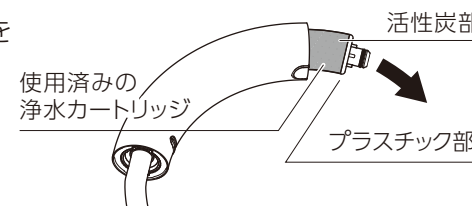
- センサースイッチの誤作動を防止するため、レバーハンドルを止水の状態にして作業を行ってください。

①浄水器部を引き出して、解除ボタンを押しながらヘッド部をグリップ部から取りはずします。

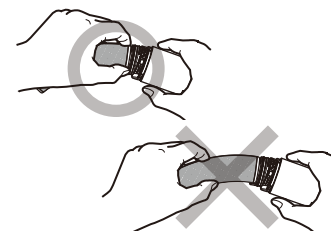


- ※必ず引き抜く側の手で解除ボタンをしっかりと押してください。
- ※グリップ部内の滞留水が出てくるため、図の向きで作業を行ってください。

②使用済みの浄水カートリッジを取り出します。



ヘッド部をはずす際に、浄水カートリッジが一緒について出てきた場合は、浄水カートリッジのプラスチック部を持って引き抜いてください。活性炭部を持って引き抜くと、プラスチック部と分離して浄水カートリッジが破損し、浄水カートリッジの交換ができなくなるおそれがありますので注意してください。

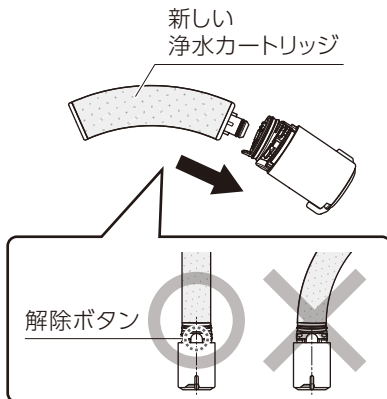


## 浄水カートリッジの交換方法(つづき)

③ 新しい浄水カートリッジをヘッド部に差し込みます。

※ 浄水カートリッジのプラスチック部を持って差し込んでください。

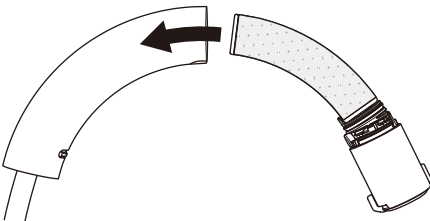
※ 浄水カートリッジが解除ボタンに対して、まっすぐ差し込まれていることを確認してください。



④ 浄水カートリッジを取り付けたヘッド部を、カチッというまでグリップ部に差し込みます。

※ 差し込み時、指など挟まないように注意してください。

※ 取り付け後、ヘッド部を軽く引っ張り抜けないことを確認してください。



新しい浄水カートリッジを取り付けたら、「浄水」で約1分以上水を流してください。

● 新しい浄水カートリッジを取り付けた直後は、水を止めたあとにしばらく水滴が落ちることがあります。活性炭内部の微細な孔に残っている空気が水を押し出すため、故障ではありません。1日程度経過すれば改善されます。

## 使用済み浄水カートリッジの処分について

使用済みの浄水カートリッジは、各自治体の区分に従い、プラスチックゴミとして処分してください。

- 水栓が凍結すると部品が破損し水漏れの原因となりますので注意してください。
- 凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。
- 凍結のおそれがある場合は水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。氷点下になる場合は、次の処置を行ってください。

## 通常仕様の凍結予防

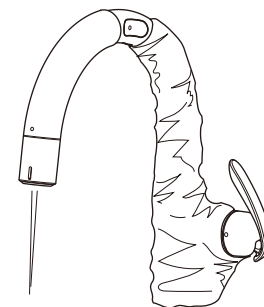
以下の処置を行うと凍結を予防できる場合があります。

● できるだけ室温を下げないようにして、水栓部(センサースイッチ部分を除く)を布などの保温効果のあるもので包む。

● レバーハンドル位置を混合域にし、水栓から少量の水を流し続ける。

※ レバーハンドル位置はp.21「水栓部の使用方法」を参照してください。

※ センサースイッチで吐水すると5分後に自動で止水するため、電磁弁ユニットの手動弁を開けて、レバーハンドルで吐水する必要があります。p.23「停電および故障時の応急対応」を参照してください。



## 寒冷地仕様の凍結予防

以下の手順で水栓の水抜きをしてください。

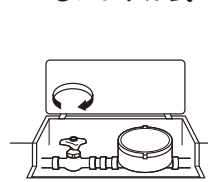
① 配管内の水抜きを必ず実施してください。配管内の水抜きを行っていないと、水栓内の水が十分に抜けず凍結のおそれがあります。

※ レバーハンドルを吐水状態にして、センサースイッチに手をかざしたあと、レバーハンドルを前後に動かし、水側・湯側どちらも止水していることを確認してください。

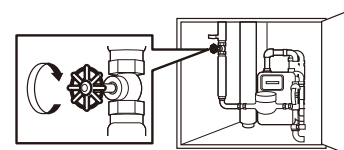
● キー式



● ハンドル式



● マンションなどの中高層住宅の止水栓ボックス

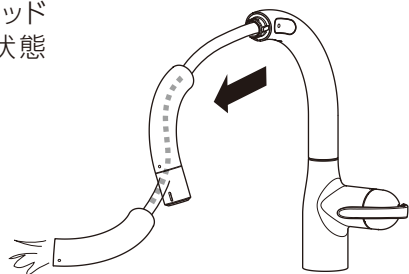


# 凍結予防について

## 寒冷地仕様の凍結予防(つづき)

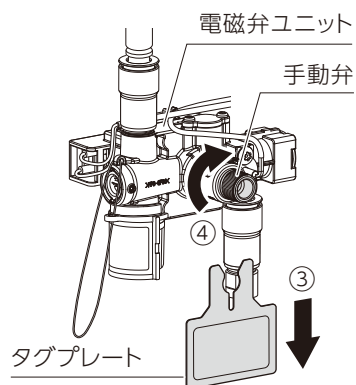
- ②浄水器部を最大限に引き出し、ヘッド部と浄水カートリッジをはずした状態でシンクに置きます。

ヘッド部の取りはずし方はp.26「浄水カートリッジの交換方法」を参照してください。  
取りはずした浄水カートリッジは清潔な袋に入れて冷蔵庫で保管してください。

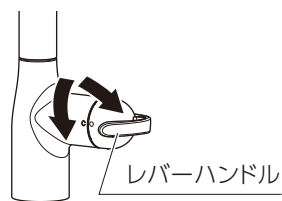


- ③電磁弁ユニットのタグプレートを下向きに引き抜きます。

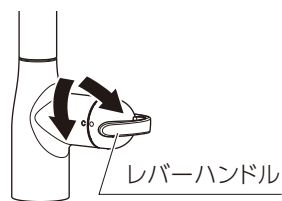
※タグプレートを破損させないように注意してください。



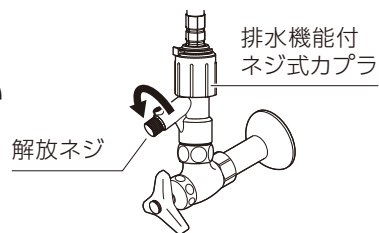
- ④手動弁を右いっぱい回し、弁を開けます。



- ⑤レバーハンドルを吐水の状態にして、水側いっぱい回します。

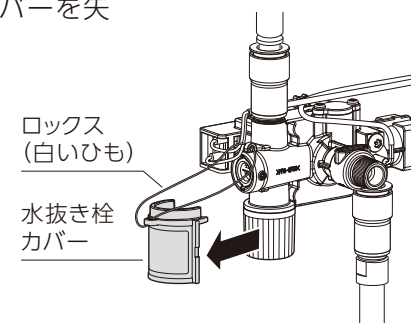


- ⑥排水機能付ネジ式カプラ(湯側・水側)の解放ネジを左に止まるまで回します。  
※解放ネジははずれない構造になっています。



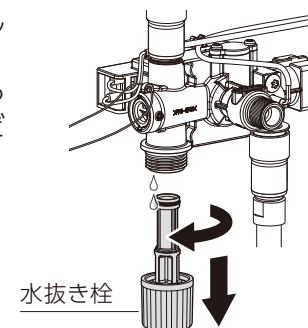
- ⑦電磁弁ユニットの水抜き栓カバーを矢印の方向に引き抜きます。

※水抜き栓カバーを破損させないよう注意してください。  
※紛失防止のためロックス(白いひも)が付いています。切らないでください。

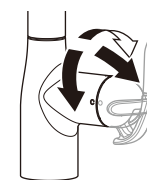


- ⑧電磁弁ユニットの水抜き栓を左に回し取りはずし水抜きします。

※⑧⑨⑩の作業中は電磁弁ユニットから水が出てきます。ふきんや受け皿などで受けてください。

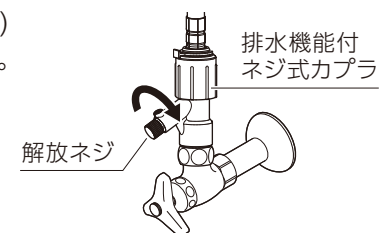


- ⑨レバーハンドルを下に傾け全開状態にして、水側から湯側まで数回回し水抜きします。



- ⑩シンクに置いた浄水器部を持ち、フレキシブルホースを振って、フレキシブルホース内の水を抜きます。(水抜き完了)

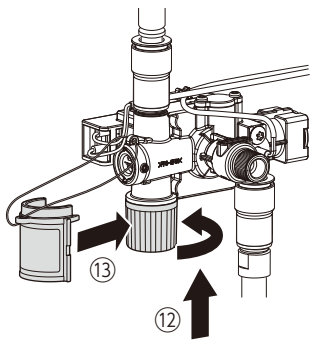
- ⑪排水機能付ネジ式カプラ(湯側・水側)の解放ネジを右に止まるまで回します。



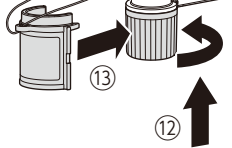
# 凍結予防について

## 寒冷地仕様の凍結予防(つづき)

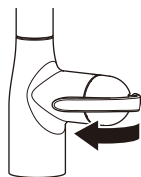
⑫ 電磁弁ユニットの水抜き栓を電磁弁ユニットに差し込み、右に回し取り付けます。



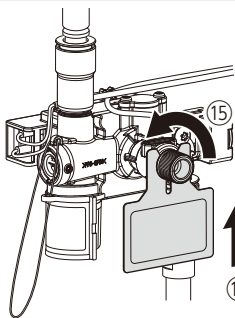
⑬ 水抜き栓カバーを矢印の方向に差し込みます。



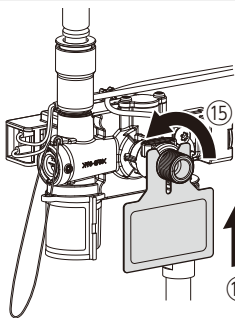
⑭ レバーハンドルを止水の状態にします。



⑮ 手動弁を左いっぱいに戻し、弁を閉めます。



⑯ タグプレートを元の位置に差し込みます。  
※タグプレートは必ず取り付けてください。手動弁が動き、センサースイッチで止水ができなくなるおそれがあります。



⑰ ヘッド部に浄水カートリッジを差し込み、グリップ部に取り付けたあと、浄水器部を水栓部に取り付けます。  
ヘッド部と浄水カートリッジおよびグリップ部の取り付け方は、p.26「浄水カートリッジの交換方法」を参照してください。

⑱ 通水を開始する前に、水抜き栓、レバーハンドルが止水の状態になっていることを確認してください。配管部の止水栓などにより通水を再開し、水漏れがないことを確認してください。

# お掃除・お手入れの仕方

## お掃除・お手入れについて

水栓をいつまでも美しく快適に使用するために、日頃からお掃除・お手入れを行ってください。

水栓の汚れは柔らかい布を水でぬらし、固く絞って拭きあげ、最後に乾いた布で水滴を拭きとってください。

### 水栓をきれいに保つためのコツ

水仕事が終わったあと、水栓に水滴を残したままにしておくと水道水中のミネラル分(カルシウム、マグネシウムなど)やホコリが乾燥し、水アカとなって付着してしまうことがあります。

一日の水仕事のあとに、乾いた布などで水滴を拭き取ることできれいな状態を維持できます。

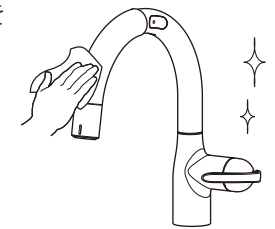


## ⚠ 注意 水栓が傷つく原因になります



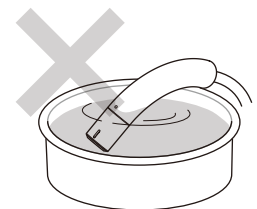
必ず実行

水栓を拭くときは、必ず柔らかい布をご使用ください。



禁止

浄水器部を水や漂白剤などに浸けないでください。付着した汚れが通水部に浸入したり、メッキ部分が破損したりするおそれがあります。



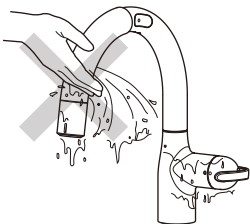
# お掃除・お手入れの仕方

## ⚠️ 注意 故障や水漏れの原因になります



禁止

浄水器部やレバーハンドルを丸洗いしたり、直接水をかけたりしないでください。



泡が付いた場合は、柔らかい布を水でぬらし固く絞って拭きあげ、最後に乾いた布で水滴を拭きとってください。

浄水器部は完全に密閉されていないため、水が浸入します。浄水器部に直接水をかけたり、水没させたりしないでください。



## ⚠️ 注意 水栓の故障や傷つく原因になります



禁止

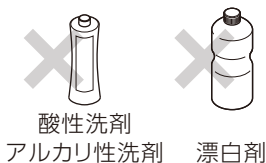
磨く場合には清潔な柔らかい布で拭いてください。金属たわしやナイロンたわし、クレンザー、メラミンスポンジなどは使わないでください。



※メッキ表面が傷つき、製品の破損や故障の原因になります。メッキ表面が傷つくと傷に汚れがたまり、それまで以上に汚れやすくなる可能性があります。



洗剤(酸性・アルカリ性)、油、ワックス、シンナー、ベンジン、漂白剤などを使用すると、薬品が水栓を侵し、破損や故障の原因となるおそれがあります。使用しないでください。



※間違えて使用した場合は、柔らかい布を水でぬらし固く絞って拭きあげ、最後に乾いた布で水滴を拭きとってください。

## 吐水部のお掃除の仕方

シャワーの水形が乱れたり、スクリーンや吐水口の網が汚れたりした場合は、以下の手順でお掃除を行ってください。

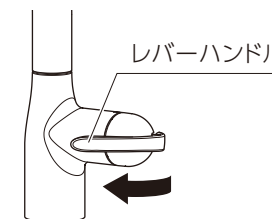
※お掃除の際は、小さな部品の紛失・組み忘れに注意してください。

### 日頃のお手入れは…

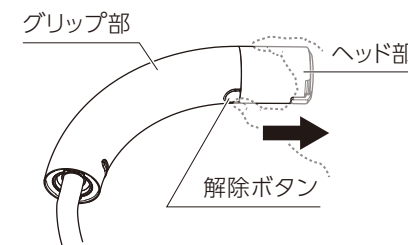
「原水」で水を少量流しながら、スクリーンを清潔な歯ブラシなどでこすり、汚れを洗い流してください。歯ブラシでこする際は、吐水部の穴の汚れをかき出すようにしてください。最後に清潔な乾いた布で水滴を拭きとってください。



①レバーハンドルを止水の状態にします。



②解除ボタンを押しながらヘッド部をグリップ部から取りはずします。  
※必ず引き抜く側の手で解除ボタンをしっかりと押してください。  
※浄水カートリッジを取り付けていない状態で説明しています。

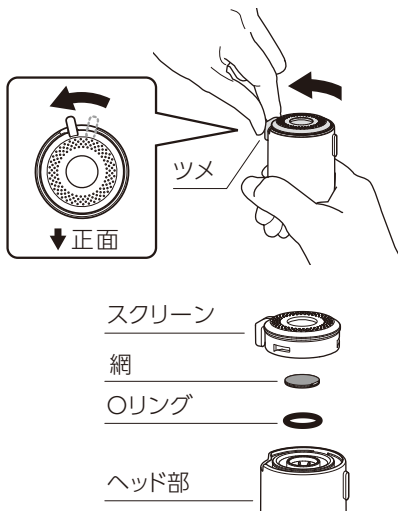




# お掃除・お手入れの仕方

## 吐水部のお掃除の仕方(つづき)

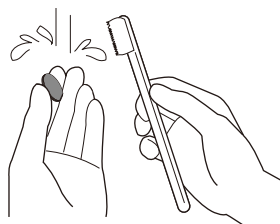
- ③スクリーンのツメを持って矢印方向に回して、ヘッド部からスクリーンを取りはずします。  
 ※Oリングはヘッド部に残る場合があります。



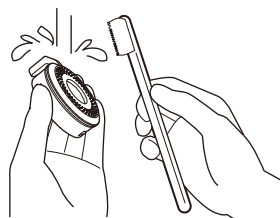
- ④網の汚れを歯ブラシなどでこすり洗いをして取り除きます。

※網を変形させないように注意してください。

**⚠️ 注意** けがをするおそれがあります  
 網のフチに注意してください。

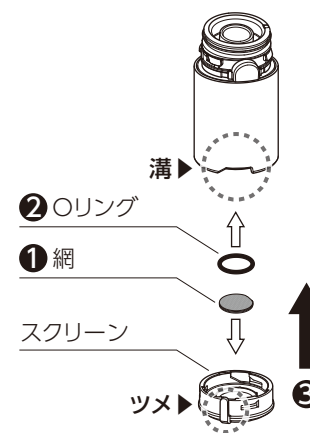


- ⑤スクリーンの汚れを歯ブラシなどでこすり洗いをして取り除きます。

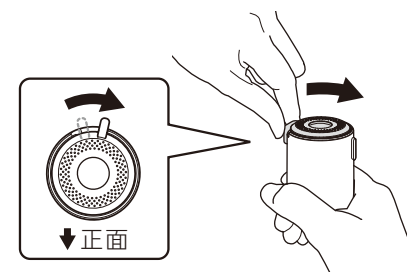


- ⑥お掃除のあとは、以下の手順でスクリーンをヘッド部に差し込みます。

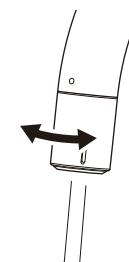
- ① スクリーンに網をのせる。
- ② Oリングをヘッド部に取り付ける。
- ③ スクリーンのツメとヘッド部の溝の位置を合わせて、スクリーンをヘッド部に差し込む。



- ⑦スクリーンを押し込み、ツメを持って矢印の方向に回して取り付けます。

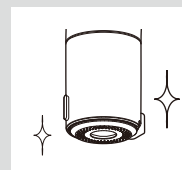


- ⑧ヘッド部をグリップ部に取り付け、切り替えがスムーズに行えるか、切り替えたときに水形がきれいに出ているかを確認してください。  
 ※取り付け後、ヘッド部を軽く引っ張り抜けないことを確認してください。



**⚠️ 注意** 体調を損なうおそれがあります

吐水部は常に清潔な状態を保つよう心がけてください。  
 汚れが付着した場合は速やかに清掃してください。  
 ※残留塩素を除去しているため雑菌が繁殖しやすくなります。

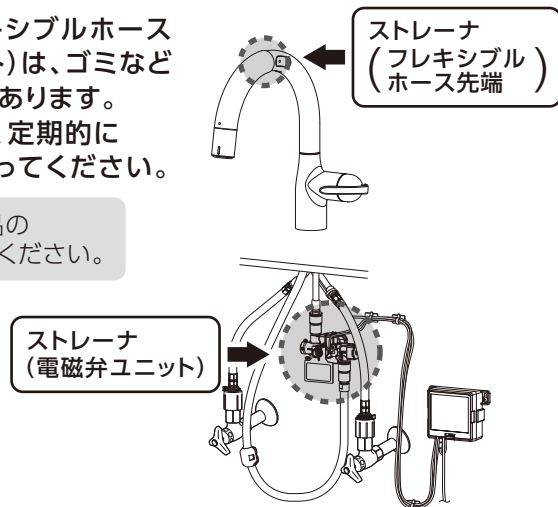


# お掃除・お手入れの仕方

## ストレーナのお掃除の仕方

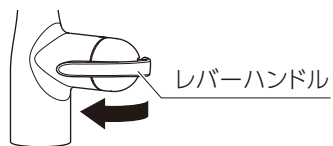
ストレーナ(2か所:フレキシブルホース先端および電磁弁ユニット)は、ゴミなどで目詰まりを起こすことがあります。機能低下を防止するため、定期的に以下の手順でお掃除を行ってください。

※お掃除の際は、小さな部品の紛失・組み忘れに注意してください。

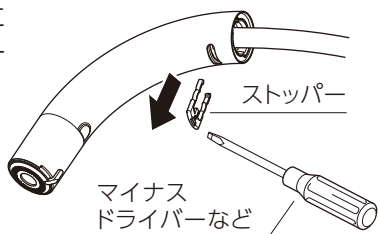


## フレキシブルホース先端のストレーナ

①レバーハンドルを止水の状態にします。



②浄水器部を引き出し、浄水器部根元にあるストッパーをマイナスドライバーなどを引っ掛けて引き抜きます。  
※工具などで水栓を傷つけないよう注意してください。

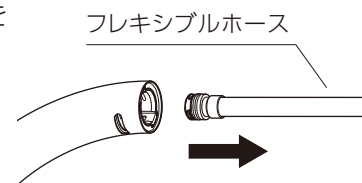


### ⚠注意 破損のおそれがあります

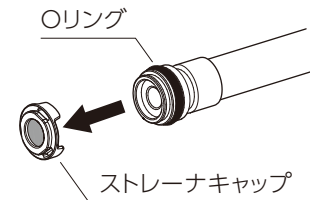
浄水器部のグリップ部は薄い構造です。落下すると変形し、水栓部に取り付けできないおそれがあります。取り扱いには十分に注意してください。変形した場合は修理を依頼してください。



③浄水器部からフレキシブルホースを引き抜きます。

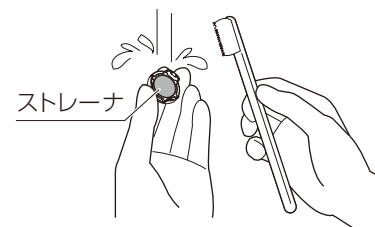


④フレキシブルホース先端にあるストレーナキャップをはずします。  
※リングにゴミが付着しないよう注意してください。



⑤ストレーナ部分の汚れを歯ブラシなどでこすり洗いをして取り除きます。

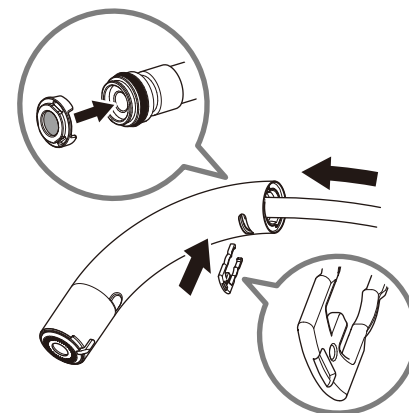
※ストレーナを変形させないように注意してください。  
※キャップからストレーナが脱落しないよう注意してください。  
※掃除が上手くいかない場合や、ストレーナを破損した場合は、補修部品を用意しています。  
タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。



⑥はずした逆の手順で組み立てます。  
※浄水器部のストッパーは図の向きで差し込んでください。

### ⚠注意

水漏れの原因になります  
ストレーナキャップはフレキシブルホースに確実に取り付けてください。

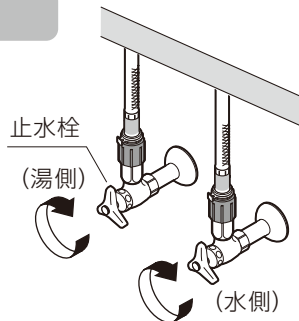


# お掃除・お手入れの仕方

## ストレーナのお掃除の仕方(つづき)

### 電磁弁ユニットのストレーナ

- ①水側・湯側の2つの止水栓を閉めます。  
※レバーハンドルを吐水状態にして、センサースイッチに手をかざしたあと、レバーハンドルを前後に動かし、水側・湯側どちらも止水していることを確認してください。



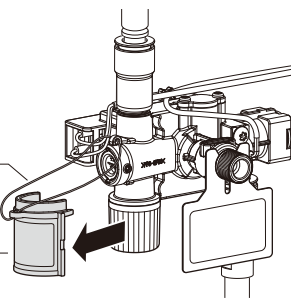
**警告**

やけどや水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります  
高温の湯が噴き出すため、必ず止水栓で止水してください。

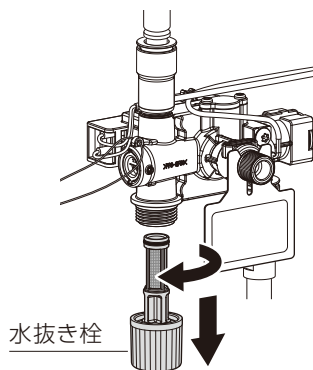
- ②電磁弁ユニットの水抜き栓カバーを矢印の方向に引き抜きます。

- ※水抜き栓カバーを破損させないよう注意してください。
- ※紛失防止のためロック(白いひも)が付いています。切らないでください。

ロック  
(白いひも)  
水抜き栓  
カバー



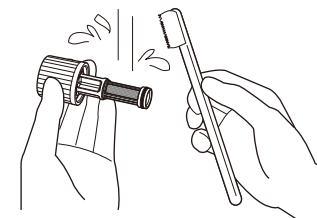
- ③電磁弁ユニットの水抜き栓を左に回し取りはずします。  
※このとき電磁弁ユニットから水が出てきます。ふきんや受け皿などで受けてください。



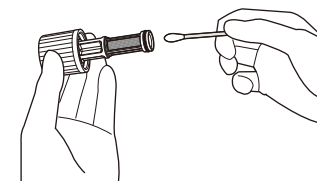
- ④水抜き栓のストレーナ部分の汚れを外側は歯ブラシなど、内側は綿棒や細いブラシでこすり洗いをして取り除きます。

- ※ストレーナ部分を変形させないように注意してください。
- ※掃除が上手くいかない場合や、ストレーナ部分を破損した場合は、補修部品を用意しています。タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。

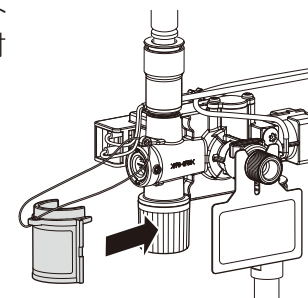
外側



内側



- ⑤はずした逆の手順で、電磁弁ユニットに水抜き栓と水抜き栓カバーを取り付けます。



**注意**

水漏れで家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります  
水抜き栓が動くため、水抜き栓カバーは必ず取り付けてください。

- ⑥止水栓を開き通水を再開し、水漏れがないことを確認してください。

# お掃除・お手入れの仕方

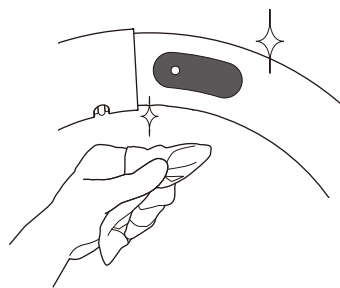
## その他の部位のお掃除の仕方

### ●センサースイッチのお掃除

センサースイッチ表面に水アカや汚れ・泡・水滴などが付着すると、センサーが感知しにくくなるため、定期的にお掃除を行ってください。

柔らかい布を水でぬらし、固く絞って拭きあげ、最後に乾いた布で水滴を拭きとってください。

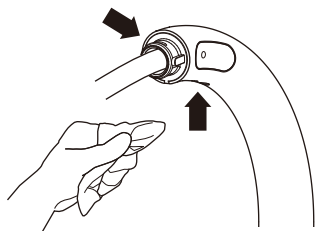
汚れがひどい場合は、中性洗剤をぬるま湯で薄めたものを柔らかい布に浸して汚れを拭き取ったあと、洗剤が残らないように水拭きしてください。



※歯ブラシ、金属たわしやナイロンたわし、メラミンスポンジなどはセンサースイッチ表面に傷つくおそれがあるため、使わないでください。

### ●スパウトホルダーのお掃除

スパウトホルダー内部も水がたまりやすいため、清潔な乾いた布で水分を拭き取ってください。



### ●フレキシブルホースのお掃除

フレキシブルホースは、月に1回程度引き出し、清潔な布を水でぬらし、固く絞って拭き、最後に乾いた布で拭きあげてください。

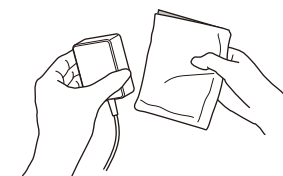


## 定期的な点検

水栓を安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をしてください。

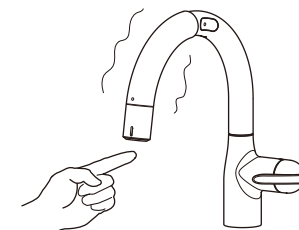
### ●電源プラグ(ACアダプタ)のホコリ

電源プラグ(ACアダプタ)にホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。定期的(1回以上/月)に電源プラグ(ACアダプタ)を抜き、乾いた布で拭いてください。



### ●浄水器部のガタつき

ガタつきなどの異常を放置すると、部品の破損やメッキ部品の表面が割れ、けがをするおそれがあります。万一、部品の破損やメッキ部品の割れを発見した場合は、修理を依頼してください。



### ●配管周りの点検

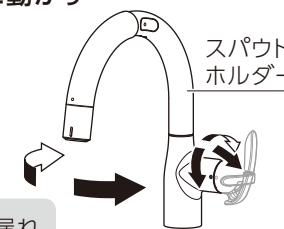
長期にわたるご使用により、部品が劣化・摩耗などで破損する可能性があります。定期的に(2回以上/年)キャビネット内や点検口内など、配管周りのガタつきや水漏れがないか確認してください。



### ●レバーハンドル・スパウトホルダーを定期的に動かす

長時間動かさなかったときなど、水アカなどの付着によって、動きが悪くなることがあります。

レバーハンドル・スパウトホルダーを定期的に動かしてください。



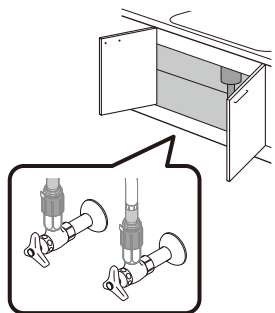
※無理に動かそうとすると配管に負荷がかかり水漏れの原因になります。動きが悪い場合は、タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。

# 故障かな?と思ったら

## 緊急時の水の止め方

配管まわりの水漏れや水が止まらないなど、緊急を要するときは止水栓または水の元栓を閉めてください。

### シンク下の止水栓

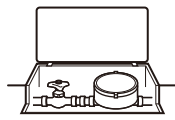


### 水の元栓

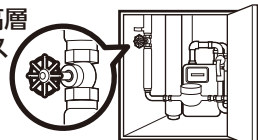
●キー式



●ハンドル式



●マンションなどの中高層住宅の止水栓ボックス



## お問い合わせの前に

異常が生じた場合は次ページの確認内容を点検し、調整してください。

次ページの確認内容を点検し、調整して良くならない場合や、項目に当てはまらない現象が生じた場合はタカギ・コミュニケーションセンターまでご相談ください。

タカギ・コミュニケーションセンター ミズはよい水 受付時間 8:30~18:00(年中無休)

通話料 無 0120-328-413

\*受付時間外でも、修理など緊急の際は音声ガイダンスより専用番号をご案内いたします。

### 【お知らせ】ウォーターハンマー(水撃)現象とは

急に水を止めたときに「ドン!」という大きな音がする現象です。ウォーターハンマー現象は配管や水圧など、さまざまな要因で発生し、水栓の不具合ではありません。配管の損傷や水漏れの原因となる場合がありますので、レバーハンドルをゆっくり閉め、ウォーターハンマー現象を発生させないように注意してください。

現象	確認内容	参照ページ
吐水しない	止水栓が十分開いているか確認してください。	p.19
	レバーハンドルが吐水の状態か確認してください。	p.21
	センサースイッチ表面に水アカや汚れ・泡・水滴などが付着している可能性があります。センサーが感知しにくくなるため、センサースイッチのお掃除をしてください。	p.41
	センサースイッチの前に障害物がある可能性があります。障害物がある場合は取り除いてください。	—
	電源プラグ(ACアダプタ)がコンセントから抜けている可能性があります。抜けている場合は電源プラグ(ACアダプタ)をコンセントに確実に差し込んでください。	—
	制御ボックスから各コネクタが抜けている可能性があります。抜けている場合は各コネクタを制御ボックスに確実に差し込んだあと、ACアダプタをコンセントに接続してください。	—
	ストレーナが目詰まりしている可能性があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.37 p.40
	水栓やかざした手に直射日光が当たっている可能性があります。直射日光が当たると誤作動を起こすことがあるため、遮光方法を検討してください。	—
やけど防止のため、約55℃を超えるお湯になると自動で止水します。	p.22	
浄水も原水も吐水量が少ない	止水栓が十分開いているか確認してください。	p.19
	レバーハンドルが吐水の状態か確認してください。	p.21
	吐水部またはストレーナが目詰まりしている可能性があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.34 p.40
浄水の吐水量が少ない	浄水カートリッジが適切な時期に取り替えられているか確認してください。取り替えられていない場合は、浄水カートリッジの交換をしてください。	p.25 p.27



# 故障かな?と思ったら

## お問い合わせの前に(つづき)

現象	確認内容	参照ページ
高温しか出ない	水側の止水栓が十分開いているか確認してください。	p.19
低温しか出ない	湯側の止水栓が十分開いているか、水側の止水栓を開けすぎていないか確認してください。	p.19
	給湯器の温度設定が適切か確認してください。	—
温度調節がうまくできない	寒冷地仕様の排水機能付ネジ式カプラ(湯側・水側両方)の解放ネジが開いている可能性があります。解放ネジが開いている場合は確実に締めてください。	p.30
	止水栓が十分開いているか確認してください。	p.19
すぐに水が止まる	給湯器の温度設定が適切か確認してください。	—
	吐水部またはストレーナが目詰まりしている可能性があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.34 p.40
やけど防止機能が頻繁に働く	センサースイッチに10秒以上手をかざすと止水します。水が出たらすぐに手を引いてください。	p.20
やけど防止機能による止水を解除してもすぐに水が止まる	給湯器の設定温度を下げてください。	p.22
	お湯の吐水量を多めにしてください。	
水が出たり止まったりを繰り返す(勝手に水が出る)	やけど防止機能による止水を解除した直後に、給湯器の変動で水温が安定しない場合があり、再度やけど防止機能が作動することがあります。	p.22
	給湯器の温度設定を42℃以下で使用してください。	
水が出たり止まったりを繰り返す(勝手に水が出る)	センサースイッチ表面に水アカや汚れ・泡・水滴などが付着している可能性があります。センサーが感知しにくくなるため、センサースイッチのお掃除をしてください。	p.41
	センサースイッチの前に障害物がある可能性があります。障害物がある場合は取り除いてください。	—
	センサースイッチに直射日光が当たっている可能性があります。直射日光が当たると誤作動を起こすことがあるため、遮光方法を検討してください。	—

現象	確認内容	参照ページ
止水しない	センサースイッチ表面に水アカや汚れ・泡・水滴などが付着している可能性があります。センサーが感知しにくくなるため、センサースイッチのお掃除をしてください。	p.41
	センサースイッチに直射日光が当たっている可能性があります。直射日光が当たると誤作動を起こすことがあるため、遮光方法を検討してください。	—
	電磁弁ユニットの手动弁が開いている可能性があります。センサースイッチが作動しないため手动弁を閉めて、手动弁にタグプレートを差し込んでください。	p.23
ラジオなどの通信機器にノイズが入る	ラジオなどの通信機器を水栓から遠ざけてください。	—
吐水時に浄水器部が飛び出る	吐水部またはストレーナが目詰まりしている可能性があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.34 p.40
斜めに水が出る	吐水部が目詰まりしている可能性があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.34 p.36
浄水時にピーと音がする/流量が少ない	浄水カートリッジが目詰まりしている可能性があります。浄水カートリッジの交換をしてください。 ※水質が著しく悪い原水の場合、浄水カートリッジの劣化や目詰まりが早くなる場合があります。	p.26 p.27
フレキシブルホースが引き出せない/引き出したが元に戻らない	シンク下でフレキシブルホースもしくはホースストッパーが配管や電磁弁ユニットなどに引っ掛かっている可能性があります。フレキシブルホースの引っ掛かりを直してください。	—
水受けボックスに頻繁に水がたまる	消耗品の摩耗や劣化が考えられます。タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。 ※結露などにより水受けボックスに少量の水がたまることはありますが、故障ではありません。	—
センサースイッチの反応が悪い	センサースイッチに保護シールが貼っている可能性があります。はがしてください。	p.18

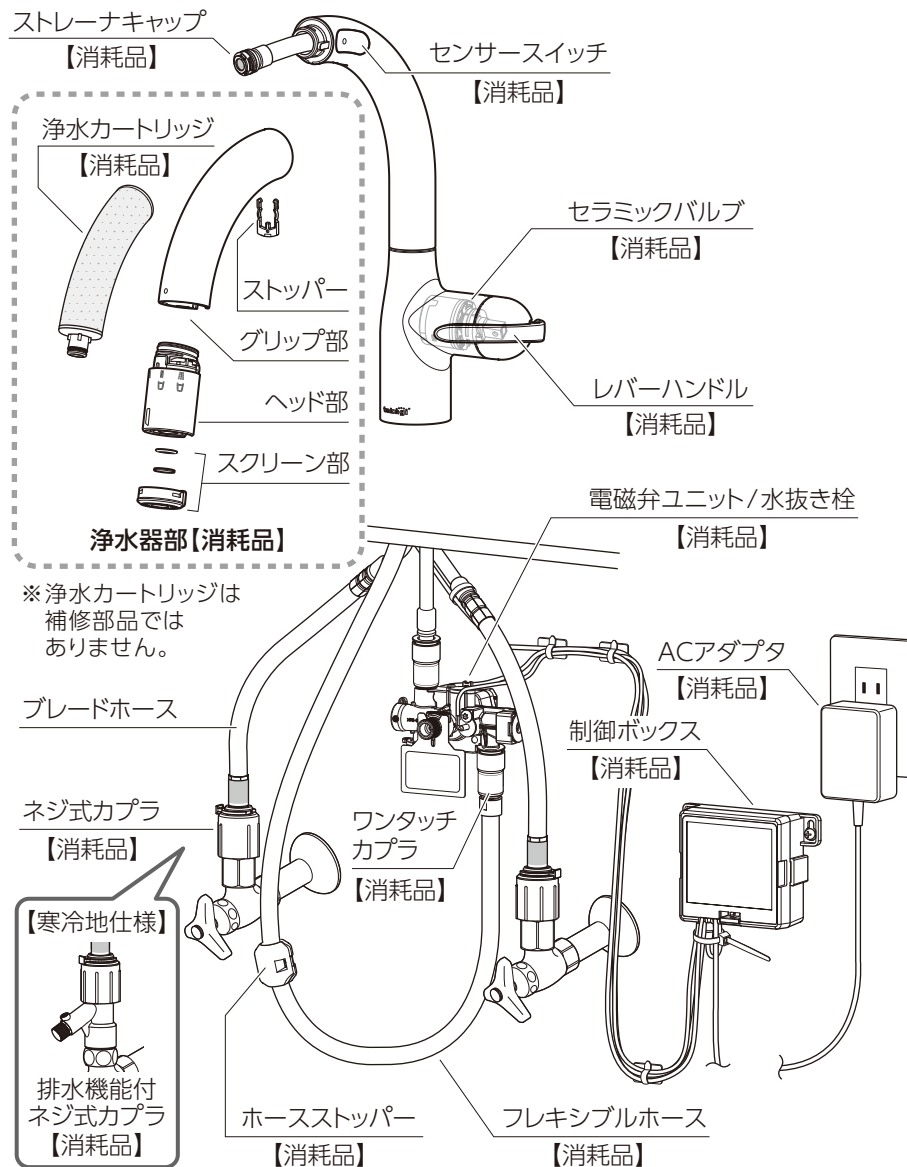
# 故障かな?と思ったら

# 分解図

## お問い合わせの前に(つづき)

現象	確認内容	参照ページ
浄水器部と水栓部の間から水が漏れる	ストレーナキャップが付いていない可能性があります。ストレーナキャップを取り付けてください。ストレーナキャップが付いた状態で水漏れする場合は、タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。	p.38
水栓根元に水がたまる	拭き取っても根元に水がたまる場合は消耗品の摩耗や劣化が考えられます。タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。 ※このような現象はご使用期間が短い場合でも、ゴミなどが部品に噛み込んで発生する場合があります。	—
水を止めたあとに、水滴が落ちる	浄水器部内の残留水が排出されるものです。故障ではありません。	—
	浄水カートリッジ交換直後は、通常より長く水滴が落ちることがあります。これは、活性炭内部の微細な孔に残っている空気が水を押し出すためで故障ではありません。1日程度経過すれば改善されます。	p.27
	吐水部にゴミなどが目詰まりして、水の流れが変わり、止水時に水のきれが悪くなる場合があります。目詰まりしている場合はお掃除をしてください。	p.34 ~ p.38
	ストレーナキャップが付いていない可能性があります。ストレーナキャップを取り付けてください。	p.38
レバーハンドルが水の位置なのにぬるま湯が出る	浄水カートリッジが目詰まりしている可能性があります。浄水カートリッジの交換をしてください。	p.26 ~ p.27
	レバーハンドルを閉じ、センサースイッチで吐水(白点滅)の状態にしてください。その状態でポタポタと吐水し続ける場合は、消耗品の摩耗や劣化が考えられます。タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。	—
レバーハンドルやスパウトホルダーの動きが悪い	レバーハンドルやスパウトホルダーなどの可動部分を長期間動かさずに使用すると、水アカなどが付着し、動きにくくなります。定期的に動かしてください。動きが悪い場合は、タカギ・コミュニケーションセンターまでお問い合わせください。	p.42

末永くご使用いただくために、消耗品の定期的な交換が必要です。  
※消耗品の交換は、お求めの取付店・販売店、またはタカギ・コミュニケーションセンターへご依頼ください。



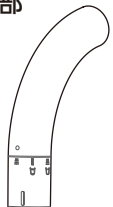




こんなときは

その他

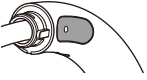

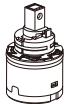

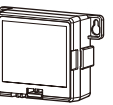
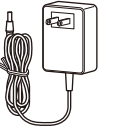
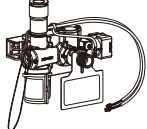

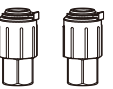
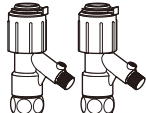

# 補修部品

製品機能の維持には欠かせない部品です。ご不明な点は、タカギ・コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

## お客様にて交換できる部品

<b>■浄水器部</b> 	<b>■スクリーン部</b> 	<b>■ストレーナキャップ (フレキシブルホース先端)</b> 
	<b>■ストッパー (浄水器部)</b> 	<b>■水抜き栓 (電磁弁ユニット)</b> 

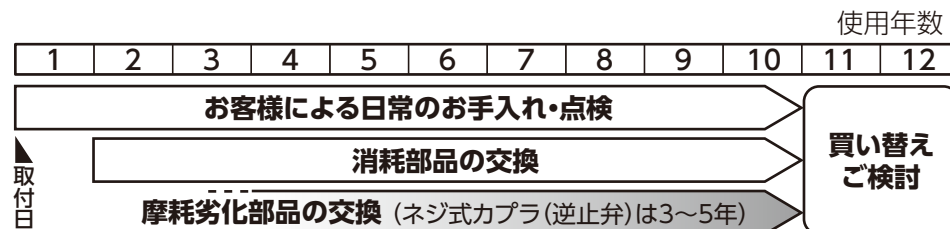
## 専門業者にて交換対応となる部品

<b>■センサースイッチ</b> 	<b>■レバーハンドル</b> 	<b>■セラミックバルブ</b> 	<b>■ワンタッチカプラ</b> 
<b>■制御ボックス</b> 	<b>■ACアダプタ</b> 	<b>■電磁弁ユニット</b> 	<b>■フレキシブルホース</b> 
<b>■ネジ式カプラ</b> 	<b>■排水機能付ネジ式カプラ [寒冷地仕様]</b> 	<b>■ホースストッパー</b> 	

タカギに消耗品の交換や修理をご依頼の場合は、【出張料】+【技術料】+【部品代】の料金が必要です。  
 ※部品によっては、主要部分以外の部品交換も必要な場合があります。


補修部品(機能維持に不可欠な部品で、使用期間中に取り替えが発生する可能性の大きいもの)の供給期間は製造打ち切り後10年です。

# 製品の点検・交換スケジュール



消耗部品(機能を保つうえで消費され、やがては交換されるもの)と摩耗劣化部品(摩擦などにより摩耗し、適正な動作をしなくなるもの)を総称して消耗品と表記しています。

# 製品仕様

●水栓		
使用電源	電 源	AC100V 50/60Hz
	消費電力	常時：約0.5W、作動時：約 2.2W
	コードの長さ	約1.8m
	使用環境温度	1～40℃
材料の種類	<p>&lt;原料樹脂&gt;ポリアセタール、 ポリフェニレンサルファイド、 ポリエチレン(品番の末尾から4桁目が「C」以外の水栓、例：LC000##-##B#00)、 ポリブテン(品番の末尾から4桁目が「C」の水栓、 例：LC000##-##C#00)</p> <p>&lt;金属材料&gt;しんちゅう、ステンレス、銅 &lt;ゴム材料&gt;EPDM、NBR</p>	
使用可能な最小動水圧	0.05MPa	
水栓使用水圧	0.05MPa(動水圧)～0.75MPa(静水圧)	
耐熱温度	60℃	
やけど防止機能作動温度	約55℃	
 <b>使用上の注意</b>	●製品の破損や変形による水漏れ事故防止のため、湯をご使用の場合は60℃以下で使用してください。	
	●凍結させないでください。	
	●本品は台所用浄水器です。浴室、洗面用には使用しないでください。	
	●給湯器などの能力によって吐水温度、吐水量の変化があります。使い始めには、水温を確かめてから使用してください。	
	●吐水口に汚れが付着した場合は汚れを、除去し10秒以上水を流してから使用してください。	
	●水栓を拭くときは、必ず柔らかい布を使用してください。	

## 保証書

### 無料修理規定

- 取扱説明書に従った正常な使用・維持管理状態で保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、ご購入店または当社にご依頼のうえ、出張修理に際して本書をご提示ください。
- ご転居、ご贈答品などで本書に記載のご購入店に修理を依頼できない場合、当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
  - 使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
  - 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・修理などに起因する不具合
  - 食洗器など、周辺設備の追加・改造に起因する製品および周辺設備の故障および損傷。
  - 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）および外部ノイズなどに起因する故障および不具合
  - 温泉水、中水、飲料不可な井戸水利用による故障および損傷。
  - 指定された以外の環境（異常電圧や異常水圧など）に起因する故障および損傷。
  - お買い求め後の取付場所の移動およびそれに伴う落下などによる故障および損傷。
  - 火災、地震、水害、落雷、凍結、結露、公害などの自然現象や住環境に起因する不具合。
  - 砂やゴミかみによる不具合およびパッキン類・逆止弁・セラミックバルブなど消耗品の劣化に起因する不具合。
  - 小動物（犬、猫、ねずみ、虫など）の行為または植物（つるや根など）の害に起因する不具合。
  - 汚れや経年劣化による色あせなどの外観上の不具合、通常のお手入れ不足による不具合。
  - 本書の提示がない場合。
  - 本書にお客様名、ご購入店名、お買い上げ日の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan）
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。  
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて保証をお約束するものではありません。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後においてもご不明な点は、当社までお問い合わせください。
- 部品の交換について  
無料修理により取りはずされた部品・商品は、株式会社タカギの所有となります。

お名前	品名
ご住所 〒	タッチレス 蛇口一体型浄水器 LC
ご購入店名	
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日から2年間 (登録により8年の延長保証) ※浄水カートリッジ・消耗品は除く

株式会社 タカギ

